

## 「両河内地区施設一体型小中一貫校の開校」について

### 1 施設一体型小中一貫校の整備について 資料1～3

#### (1) 両河内中学校敷地内の工事

以下のとおり、工事を実施いたします。

- ・両河内中学校校舎の改修（工事期間 令和3年7月～令和4年3月）
- ・両河内中学校の技術科室の解体（工事期間 令和3年6～9月）
- ・小学校新校舎の増築（工事期間 令和3年9月～令和4年8月中旬）

#### (2) 小学校新校舎の工期延長の理由

工期は令和4年3月までを予定していましたが、以下の理由により、令和4年8月まで要することとなりました。

- ・地盤調査により、想定より地盤が弱いことが判明し、地盤改良工事が必要となりました。
- ・コロナ禍により、建築資材の調達や人材の確保に影響がありました。
- ・建設業の働き方の見直しにより、余裕のある工期を設定する必要が生じました。

### 2 施設一体型小中一貫校の開校について

#### (1) 小中一貫校の開校時期

以下の状況から、当初の予定通り、令和4年4月の開校といたします。

- ・両河内地区全体の要望も踏まえ、令和4年4月開校を前提として、以前から地域の皆様と準備を進めてまいりました。子どもたちをはじめ地域全体として、令和4年4月から3つの小学校の児童が一緒に学ぶことの期待・機運が高まっていると考えています。学校でも4月スタートを見据え、準備を進めています（「(2)開校に向けた、学校の準備状況」のとおり）。
- ・1年でも早く多くの友達と同じクラスで授業を実施することで、様々な価値観に触れ、多くの友達との協働した学びや活動を実現できる環境を作りたいと考えています。（例えば、来年度の小学6年生が3小学校の統合を経験でき、また、中学3年生が小中一貫校を経験できるのは、令和4年度のみです。）
- ・「3（1）令和4年4月から夏休みまでの学校生活」のとおり、工事期間の延長に伴うご心配やご懸念の点については、教育委員会及び学校が一丸となって、お子様一人ひとりに寄り添い丁寧にサポートします。

#### (2) 開校に向けた、学校の準備状況

①子どもたちは令和4年4月スタートを楽しみに、準備を進めています。

- ・両河内中生徒会スローガン「一体化」のもと、4月開校に向けた生徒会活動を実施しています。

（4月から小学校と一緒にやる活動として、「バドミントン」「ポッチャ」「帰りの会で一緒に歌う」などが、中学校の生徒会役員選挙で話題になりました。）

- ・令和4年度からの小中一貫校としての校章や校歌は、夏休みの宿題として、子どもたちからアイデアを募集します。

②教員は、令和4年4月に現・和田島小で3小学校を統合して開校できるよう、準備を進めています。

- ・令和4年度の小中一貫の教育課程をすでに作成しており、今年の秋頃に完成予定です。

③現・和田島小と両河内中の距離の近さを活かし、令和4年度から、小中一体の行事や授業を

多く計画しています。

(例)・1年生を迎える会、児童生徒会団結式(顔合わせ、新入生の紹介など)

- ・小1生活科「学校探検」「先生めぐり」などを中学校校舎で実施
- ・中学生による小学生への読み聞かせ
- ・小学校高学年に対し、中学校の専門科目の教員が授業を実施(体育、音楽、英語など)

### 3 開校後の学校生活について **資料4**

#### (1) 令和4年4月から夏休みまでの学校生活

3つの小学校は、令和4年4月から1つの小学校に統合し、夏休みまでの間、現・和田島小学校で生活を送ります。

低学年の子や環境に慣れるのが苦手な子も含め、子ども達が不安なく学校生活を送れるよう、職員の配置は最大限考慮させていただきます。

特に、西河内小学校や中河内小学校に通っていた子どもたちにとっては新しい施設となること、2回の引越しが必要となることから、子どもたちの精神的負担を和らげるため、学校の教職員が子ども1人ひとりに寄り添い、丁寧にサポートしていきます。

- ・多くの友達と一緒に学ぶ機会を確保し、統合後は1学年1クラスの計6クラスとなり、複式学級を解消します。
- ・中学校との連携(児童生徒の交流活動・合同授業、教員の乗り入れ授業等)を進めます。
- ・新校舎(両河内中学校敷地内)と地理的に近い現・和田島小学校で過ごすことで、通学方法・通学時間など、新校舎完成後の学校生活と大きな変化がないようにします。
- ・小中一貫校となることで、学校司書が専任配置となります。
- ・校舎が別となるため、「養護教諭」「スクールサポートスタッフ(兼給食補助員)」「用務員」「事務員」を各校舎に1人ずつ配置します。
- ・子どもからの相談に対応できるよう、スクールカウンセラーが丁寧に対応します。

#### (2) 通学支援(スクールバス)について **資料5**

以下のとおり、運行していく予定です。

運行业者が決まり次第、業者と詳細を検討します。

- ・大平方面 車両2台(29人・10人乗り)、板井沢方面 車両2台(29人・10人乗り)で運行します。
- ・ココバスのバス停を利用します。
- ・児童生徒の人数を踏まえ、原則として希望者は全員乗車できる見込みです。  
(現在自転車通学の中学生も含め、全児童生徒の乗車希望についてのアンケート結果を踏まえ、詳細の運行時刻やルート等の計画を作成します。)
- ・時刻表(予定)の公表は秋頃、時刻表の決定・公表は2~3月頃を予定しています。  
(大平や板井沢バス停の出発は、午前7:00頃を想定しています。)

### 4 保護者への説明について

3つの小学校において、6月下旬~7月上旬にかけて、保護者説明会を実施しました。

※詳細は、別紙「保護者説明会の概要について」をご覧ください。

## 保護者説明会の概要について

### (1) 開催状況について

開催日時	会場	参加人数
令和3年6月28日(月) 19:00-20:20	清水西河内小学校 体育館	38人
令和3年7月1日(木) 19:30-20:20	清水中河内小学校 体育館	24人
令和3年7月5日(月) 19:00-20:00	清水和田島小学校 体育館	18人

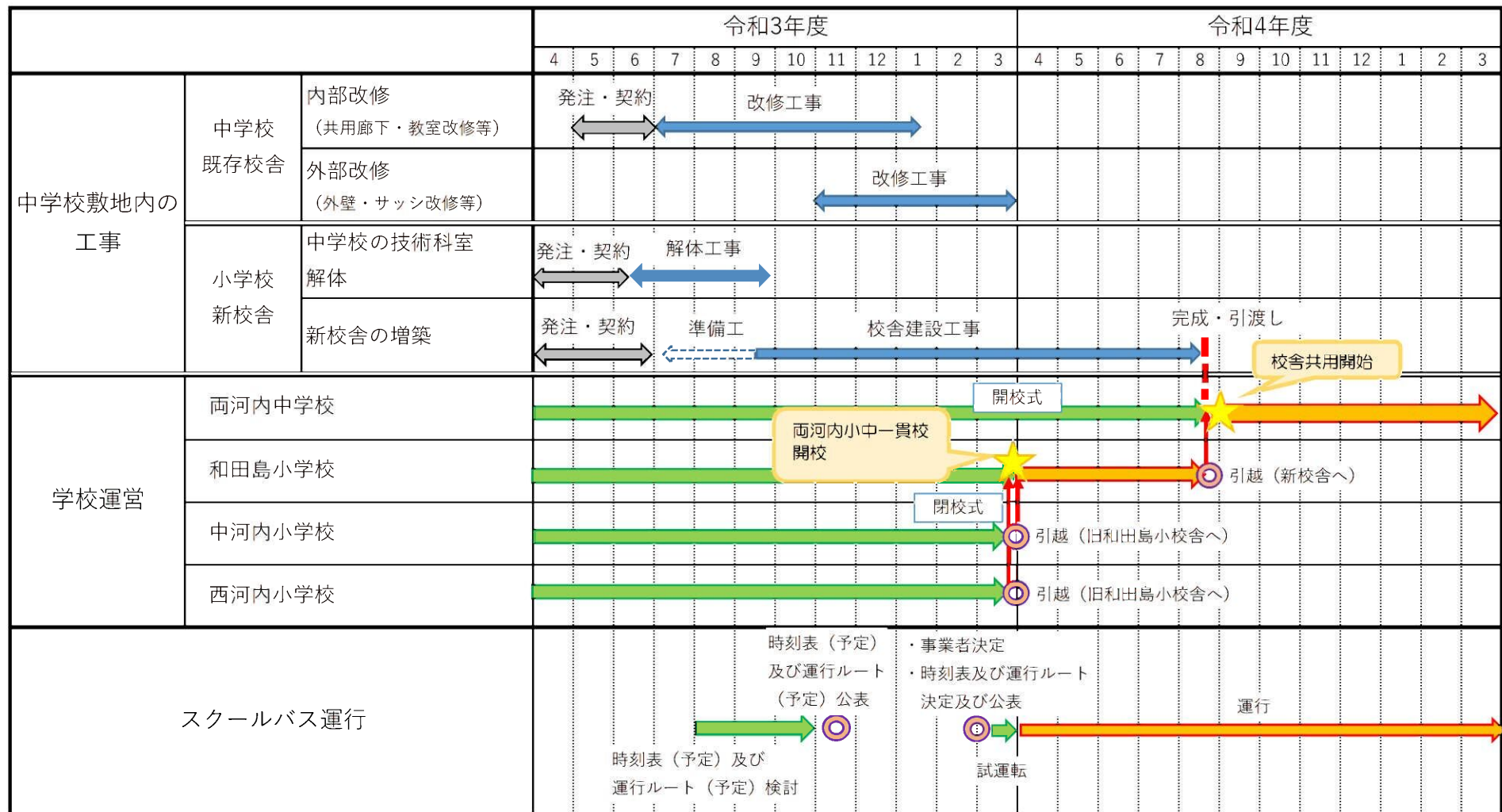
### (2) 説明会での主なご質問・ご意見について

	説明会での主なご質問・ご意見	教育委員会の対応
工期の延長	そもそも今年度に発注して、間に合う工事だったのか。工期の見込みが甘かったのではないのか。	当初の計画から地盤改良工事が必要になったことが、工期が延長した大きな理由です。延長の可能性を想定せず、今年度中に新しい校舎を完成させることができなくて、大変申し訳ありません。
	地盤調査をせず、校舎を建てようとしていたのか。	既存の中学校校舎や向かいの給食センターの資料を基に進めていましたが、新しい小学校棟の大きさや構造などが決まってくる中で、地盤改良の必要性が生まれました。
	地盤改良工事の業者を増やすなどして、今から工期を間に合わせることはできないのか。	限られた工事スペースで作業を1つずつ行っていくため、業者を増やしても早くなるものではなく、ご理解いただければと考えます。
	来年の8月には必ず校舎は完成するか。	災害など不測の事態が生じなければ、確実に完成します。
学校運営	少子化の中で、多い人数で学べる環境が確保されるのはとても良い。	1年でも早く多くの友達と同じクラスで学び、子ども同士で切磋琢磨できる機会を確保します。
	新しい学校では、どのような小中一貫教育を行うのか。	これまでの説明会でお示ししてきたように、「ふるさと両河内に誇りを持ち、豊かに表現できるたくましい子」を目指した学びを進めていく予定ですが、現在内容については検討しており、今後、地域に丁寧に示していきます。
	令和4年4月から予定どおり開校してもらえるという理解でよいか。	令和4年4月に開校します。
	現・和田島小の図書室はどうなるのか。	1学年1クラスになることから、普通教室へ改修します。教室部分のスペースは確保したうえで、図書のスペースとパーテーションで区切るなど、学校と調整しています。また、小中一貫校となることで、学校司書を専任配置とします。
	新校舎の新しい図書室(交流スペース)を含め、校舎に不審者が入らないよう、防犯をしっかり考えてほしい。	校門が見える箇所に事務室を設置するとともに、門扉を設置します。防犯カメラの設置も検討しています。また、今後、交流スペースの管理運用を検討する際に、各扉の施錠など防犯面も考慮します。

	<p>来年の夏休みまでの現・和田島小での学校生活が不安で、また、2回の引越しは子どもへの負担が大きいと考えるため、再来年（令和5年）4月の開校としたらどうか。</p>	<p>統合して児童生徒数が増え、子どもたちが多くの友達や様々な価値観に触れることに意義があること、また、「来年4月からたくさんの友達と一緒に生活する」という気持ちで子どもたちが生活してきていることから、子どもたちの生活環境や思いを考えると、予定どおり、来年4月の開校が良いと考えています。</p> <p>また、子どもたちが不安や負担なく学校生活を送れるよう、学校の教職員が子ども1人ひとりに寄り添って丁寧にサポートしていきます。</p>
	<p>来年4～8月は小学校と中学校で校舎が2つに分かれるので、子どもたちへの教職員のフォローはしっかり行ってほしい。</p>	<p>子どもたちが安心・安全に学校生活を送れるよう、8月までは養護教諭を2名配置（各校舎に1名）するなど、2つの校舎における職員の配置を最大限考慮します。</p>
通学支援	<p>小中学生の下校時間に合わせ、複数便のバスが出るのか。</p> <p>自宅からスクールバスのバス停まで遠いが、バス停を増やすことは考えているか。</p>	<p>下校時間を考慮し、現時点では、複数便を考えています。</p> <p>基本的には、ココバスのバス停を利用します。できる限り子どもへの負担を少なくしたいと考えていますが、全ての要望に対応することは困難であると思われます。また、バス停が増えると運行時間が長くなり、遠いバス停から乗る子は、その分早い乗車時刻となります。詳細については、現在実施しているアンケート結果を踏まえ、今後、運行業者と時刻表や運行ルートなどを作成していきます。</p>
その他	<p>入学式や始業式などはどのように実施するのか。</p> <p>跡地利用については、地域の要望を聞いて決定してほしい。</p>	<p>現在検討しており、決まり次第お知らせします。</p> <p>地域の要望を伺い、一緒に検討していきます。</p>

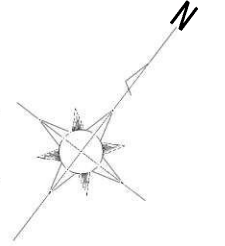


両河内小中一貫校 整備スケジュール



# (仮称) 清水両河内小中一貫校 整備配置図

道路



道路

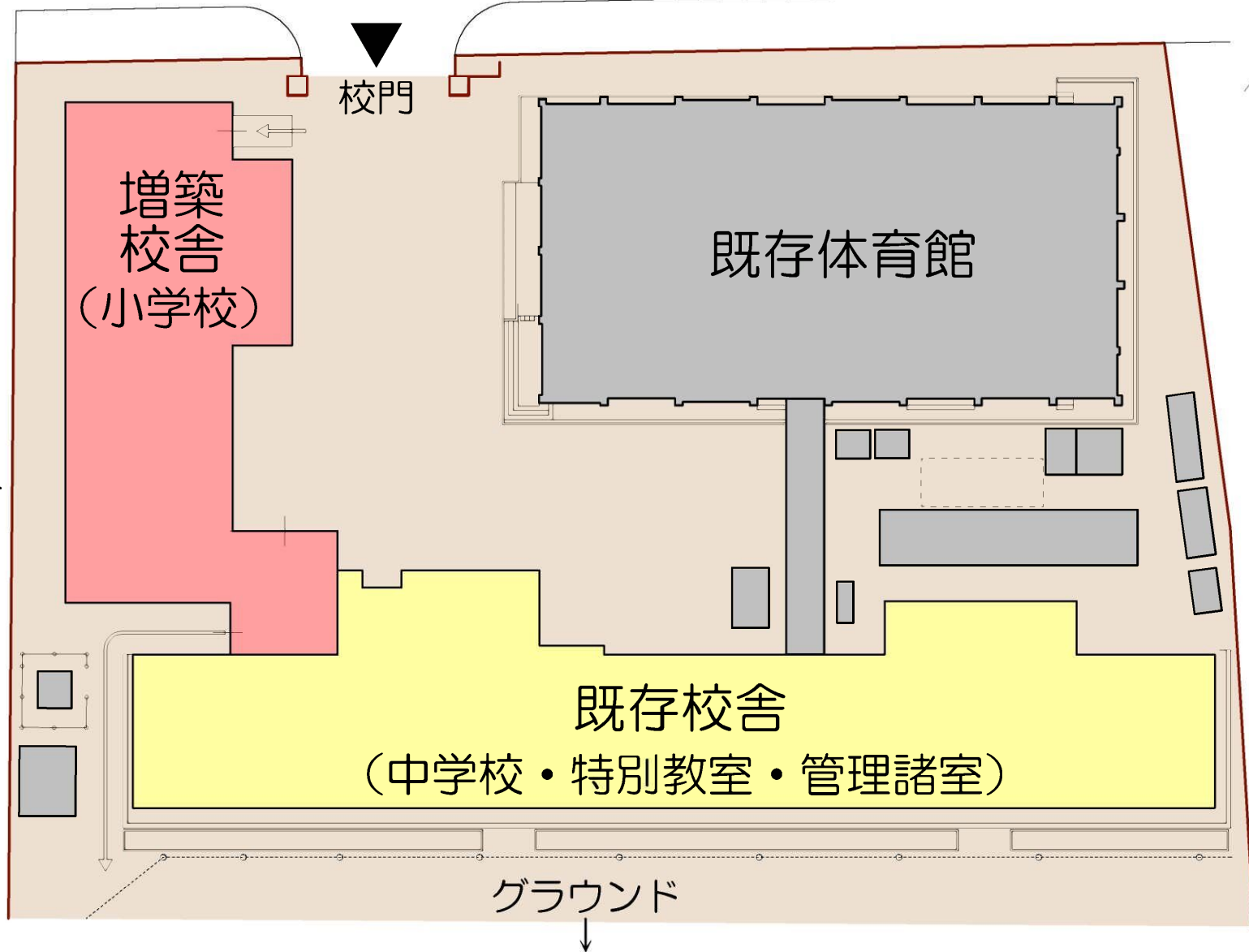
校門

増築  
校舎  
(小学校)

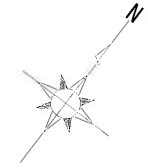
既存体育館

既存校舎  
(中学校・特別教室・管理諸室)

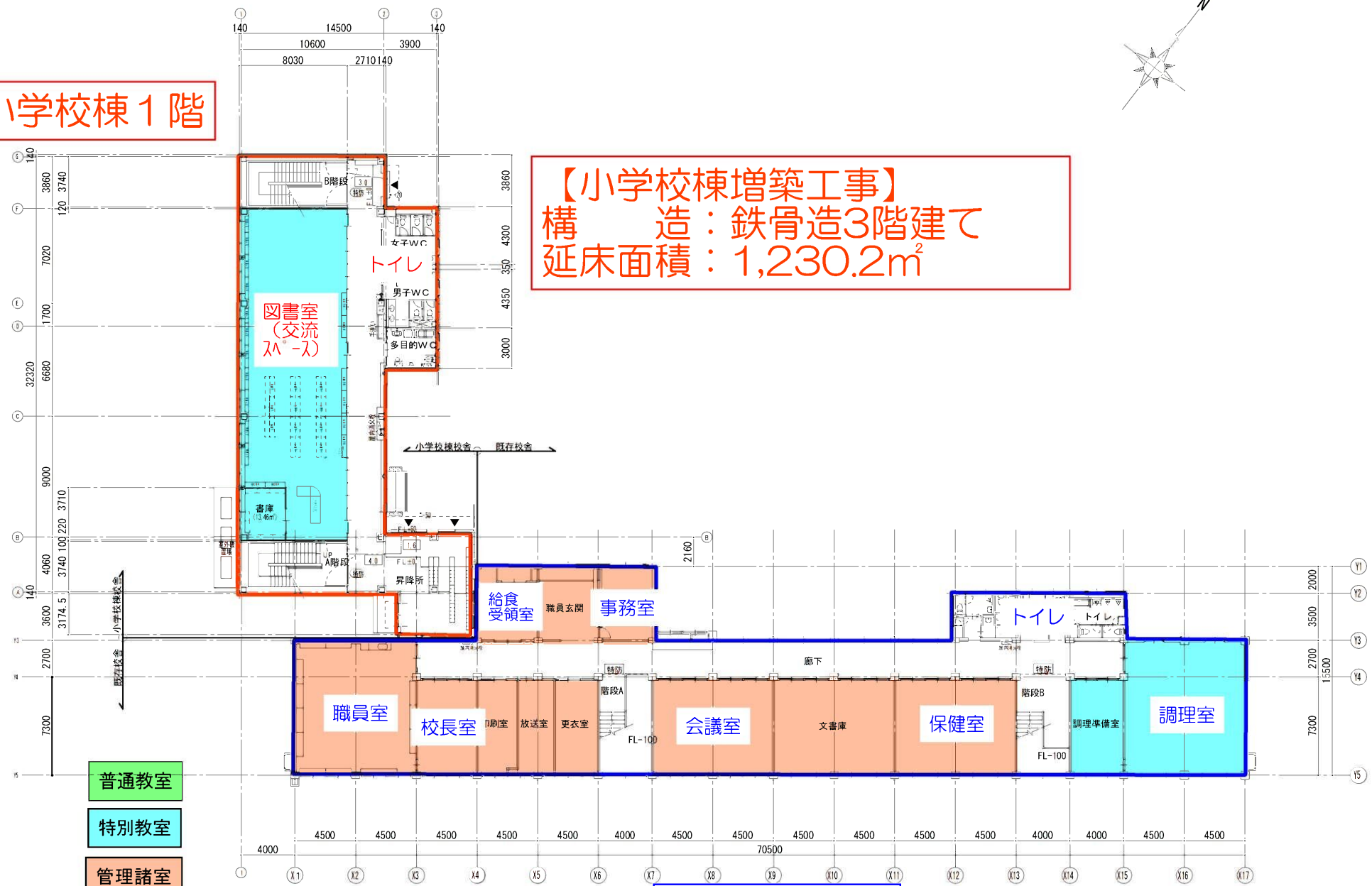
グラウンド



# 小学校棟 1階



【小学校棟増築工事】  
 構造：鉄骨造3階建て  
 延床面積：1,230.2㎡



- 普通教室
- 特別教室
- 管理諸室
- 多目的室

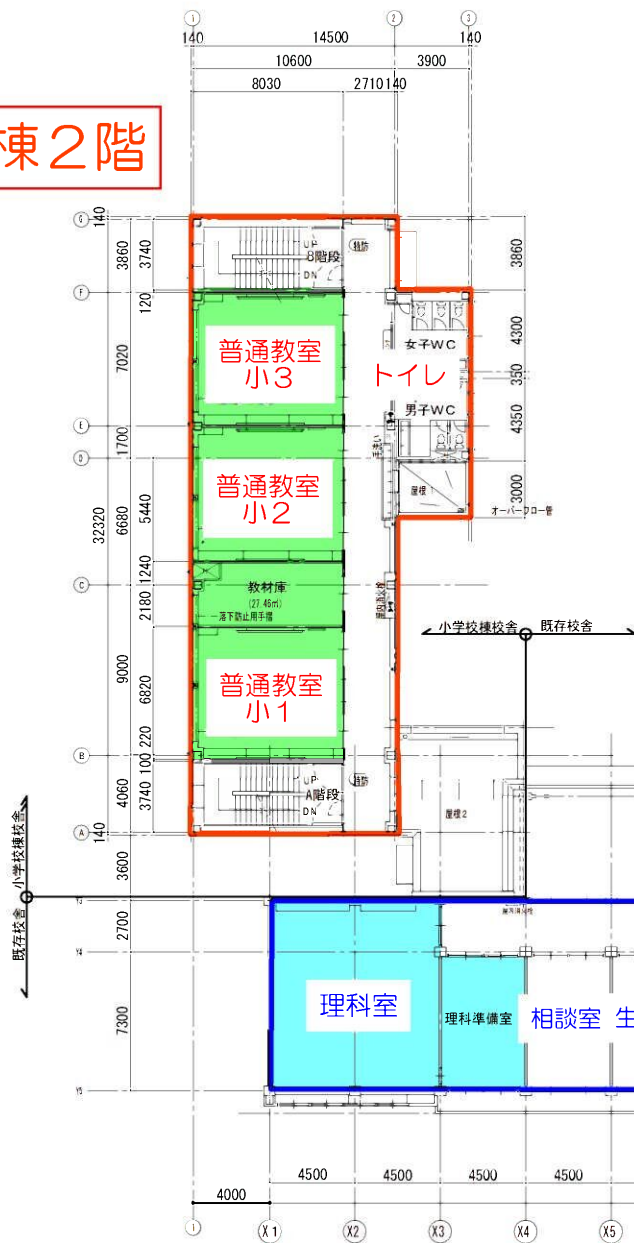
# 中学校棟 1階



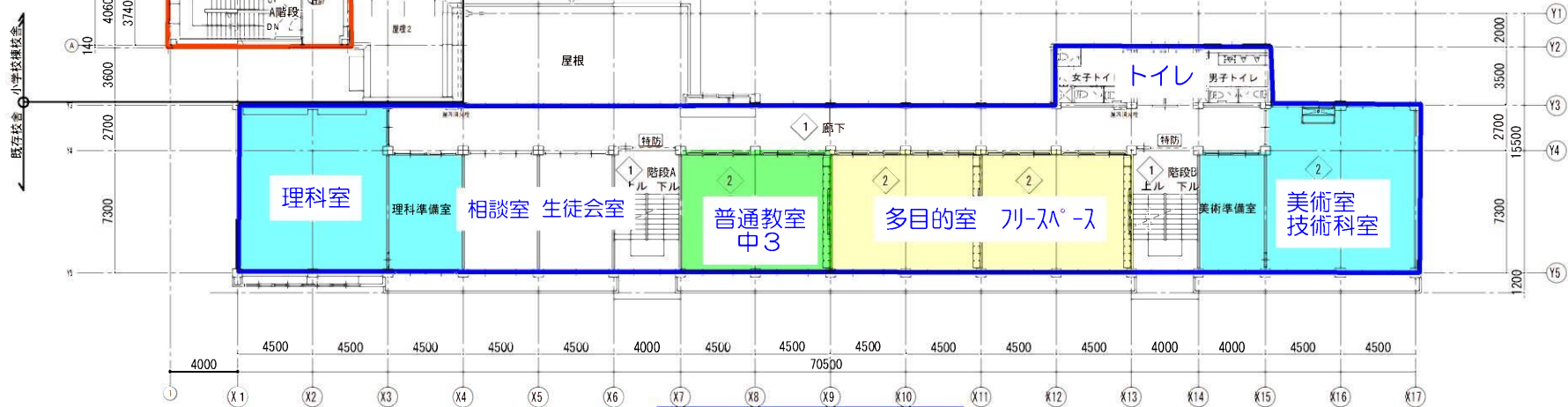
株式会社 エー・アンド・イー 総合設計	設計番号	設計年月日	意匠	工事名称	図番
	管理建築士 1級建築士218820号 増田 吉則		松浦 康基	清水雨河内小中一貫校整備事業 小学校棟校舎増築等工事	A-16
	1級建築士事務所 登録番号 静岡県知事登録 (14) 第635号		製図 小林 加奈	図名 1階全体平面図	A2:1 / 200 A3:1 / 280



# 小学校棟2階



【中学校棟改修工事】  
 構造：鉄筋コンクリート造3階建て  
 延床面積：2,345.24㎡  
 改修内容：外壁改修、内部部分改修、照明改修、空調設備改修等



# 中学校棟2階



株式会社 エー・アンド・エー 総合設計 1級建築士事務所 登録番号 静岡県知事登録 (14) 第625号	設計番号 管理建築士 1級建築士 218820号 増田 吉則	設計年月日 松浦 康基 監 匠 小林 加奈	工事名称 清水岡河内小中一貫校整備事業 小学校棟校舎増築等工事	図番 A-17
	図名 2階全体平面図		A2:1 / 200 A3:1 / 280	



(令和2年度)

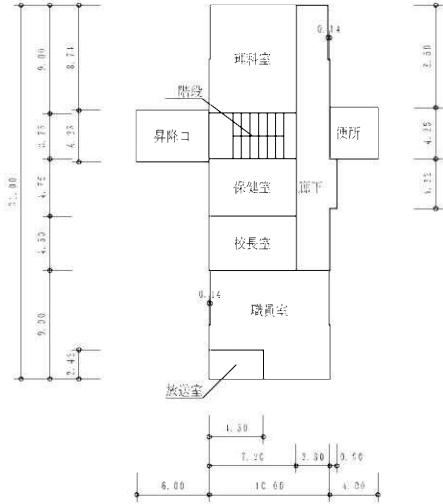
平面図	縮尺	1/600 (A4)
-----	----	------------

学校名 清水和田島小学校

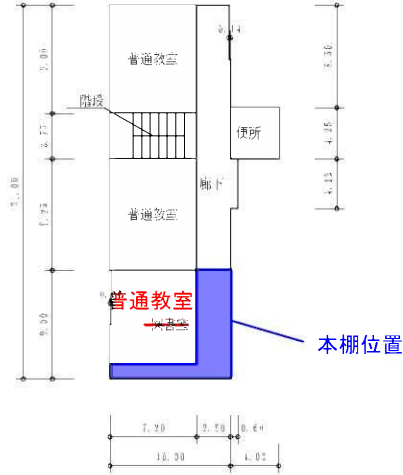
調査番号	調査年度	調査月	調査日
22	2021	10	8

資料 4

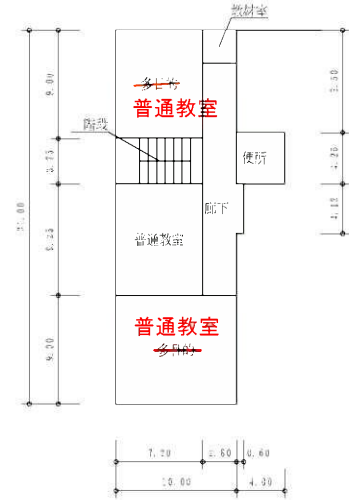
①-1 1F



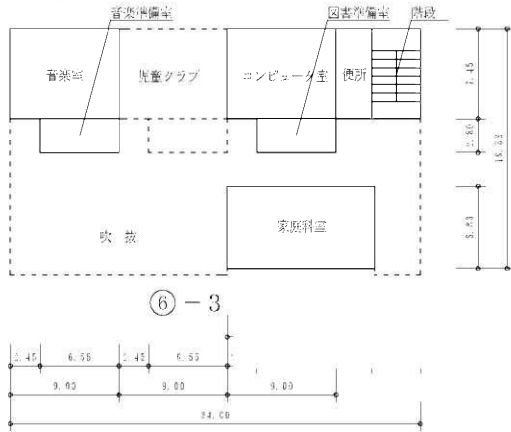
①-1 2F



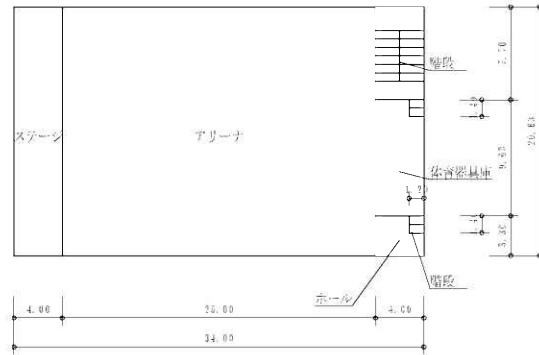
①-1 3F



⑥-1 1階



⑥-2 2階



⑥-2 3階

